

「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜6月の学校経営方針＞

【「スパイラル」の構築】…改善のためのマネジメントサイクルを創り出す！

5月は、「自分だけの挨拶」「授業改革」を掲げ、「朝の入室の挨拶、先生方との挨拶、来校者への挨拶」「課題（板書）、対話（授業形態）、まとめ（メタ認知）」に取り組んできた。6月はその評価によるズレを現状（課題）と捉え、何故そのズレが生じたのか、何が足りていて、何が不足していたのか（原因）を検討し、更なる次の手立てを考え、改善のスパイラルを構築させていきたい。

取り組んだ成果は必ず出てくる。それを認め合い、自分たちの財産としていくことが、次につながってくる。そして改善のプロセスを創り出していくことが、成長という変化を生み出すのである。

今月は次の重点を意識し、日々の変化（成長）をつくり出したい。特に校外学習に対する取り組みは大きなステップアップを創り出す絶好の機会と捉えたい。

【「ブランド構築」のための取り組み

（1）授業改革（主体的・対話的で深い学び）…「改善」ではない本気の「改革」推進

- 明確な学習課題の設定（板書計画）、学習形態（対話）の工夫、まとめ（振り返り）による評価

（2）心の教育（道徳、いじめ、生命、思いやり）…「命の尊さ」「思いやり」の重点的取り組み

- 「いじめゼロ」運動の開催

（3）安全安心（健康・体力向上、メンタル、防災、食育）…指標を意識した取り組みの推進

- 校内適応教室の設置と運営及び欠席3日/月の報告と長欠対策会議の開催
- メンタルヘルスとタイムマネジメント研修の推進

（4）生徒主体（行事、生徒会、部活）…放任でも管理でもない生徒主体の活動づくり（共に創る）の意識化

- 生徒総会での決定事項の実現に向けての動機づけ。
- 各学年の校外学習の検証と日常の学校生活への転化。
- 生徒会や委員会提案による学校改善の推進。

（5）三大伝統（挨拶、歌声、清掃）…可視化された具体的な取り組み推進

- 「明るく元気な挨拶」→「私だけの挨拶」運動の評価と継続。（生徒会本部、全委員会）
- 「美しく響く歌声」→歌声交換会の成功に向けての取り組み。（歌声委員会）
- 「心を磨く清掃」→モデルづくり（美化委員会）

【「スキルの向上」のための学び

（1）「わかる・できる授業」…「大丈夫？」「教えて！」「いいよ！」という学ぶ関係を各教科で作り出す。

（2）「インクルーシブ教育」…「みんな違ってみんないい」という認め合う関係を各学級で作り出す。

（3）「考え議論する道徳」…ねらいに迫る発問を吟味し、対話の場面を設定する。

今月は、「校外学習」と「研修と課題」にスポットを当て、マネジメントサイクルを意識した取り組みを進めていきたい。例えば修学旅行や林間学校の課題を次の年生が引き継ぎ、その上で改善を加え、次年度の校外学習に向けて取り組むようにしたい。それぞれが取り組んだ結果が、次の改善目標や手立てを生み、繋がるようにしていきたい。行事をただこなすのではなく、「何のために」、「何故」取り組んでいるのかを常に意識して、実施計画を改善していきたい。

「スキルの向上」の研修についても、授業研究がスタートとなり、自分の授業とのズレを認識し、「学び方」を生徒に学ばせるように取り組んでいきたい。「わからない」が言える生徒をつくり、積極的にその生徒を支援しながら成長する生徒を育てていきたい。「教える」、「教わる」関係が縦ではなくフラットな関係になるよう指導していきたい。